

WEB アンケートから見る・考える「こうちの男女共同参画」

「第4回 防災への女性参画」 集計結果概要

(実施期間：令和4年12月15日～令和5年1月15日)

第4回 WEB アンケート「防災への女性参画」の集計結果をご紹介します。

〈アンケート実施期間と方法〉

令和4年12月15日～令和5年1月15日 (Google フォームを使用)

〈回答者総数〉

114 名 (県内 111 名、県外 3 名)

【性別毎の割合】

女性 80 名 (70.2%) 男性 31 名 (27.2%) 回答しない 3 名 (2.6%)

【年代毎の割合】

内訳： 19 歳以下 2 名 (1.8%) 20 歳代 13 名 (11.4%) 30 歳代 9 名 (7.9%)

40 歳代 29 名 (25.4%) 50 歳代 37 名 (32.5%) 60 歳代 14 名 (12.3%)

70 歳代 6 名 (5.3%) 80 歳以上 4 名 (3.5%)

【問1】次の中で、言葉も内容も知っているものを選んでください。(複数回答可)

ローリングストック法	普段から必要量の備蓄を用意し、定期的に消費しながら買い足して管理する方法。
パッククッキング (ポリ袋調理)	食品を混ぜる、加熱する等をすべて袋の中で行う調理方法。
マイ・タイムライン (避難行動計画)	自分自身がとる防災行動を時系列で整理し、自ら考え命を守る避難行動計画。
分散避難	避難所だけでなく、自宅や車の中、知人宅やホテルなど、場所を分散して避難すること。

「知っている」という回答が最も多かったのは「ローリングストック法」で7割以上、次いで、5割以上の方が「パッククッキング (ポリ袋調理)」「分散避難」を知っていると回答しました。

【問2】 あなたがお住まいの地域の自主防災組織に女性メンバーは入っていますか。

7割近い方が「女性メンバーが入っているかわからない」と回答し、「入っている」という回答は 24.6%となりました。

【問3】 防災計画を策定する場や避難所の運営、避難訓練などの地域の防災活動に女性の参画がもっと必要だと思いますか。

この問いでは9割を超える方が「女性の参画がもっと必要だと思う」と回答しました。

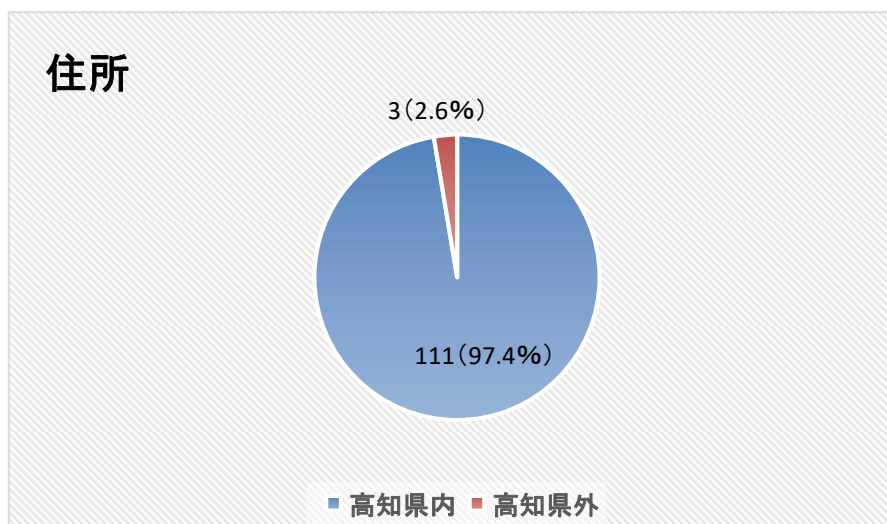
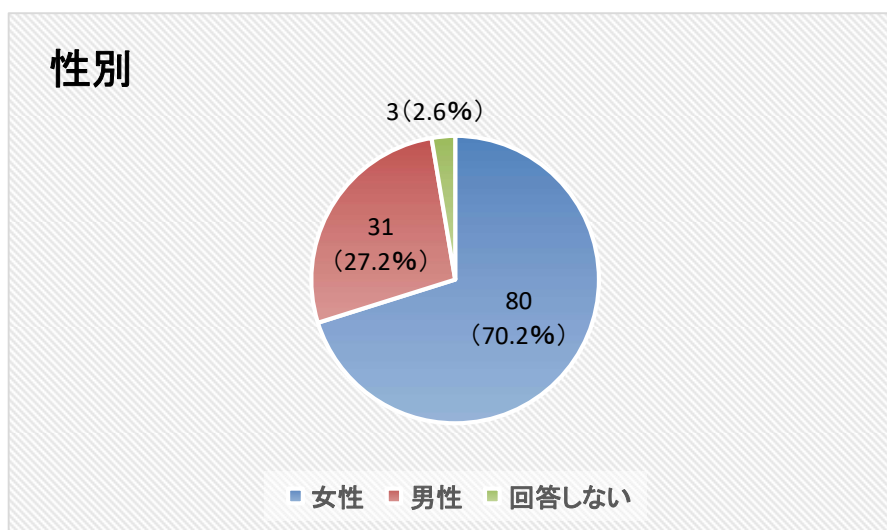
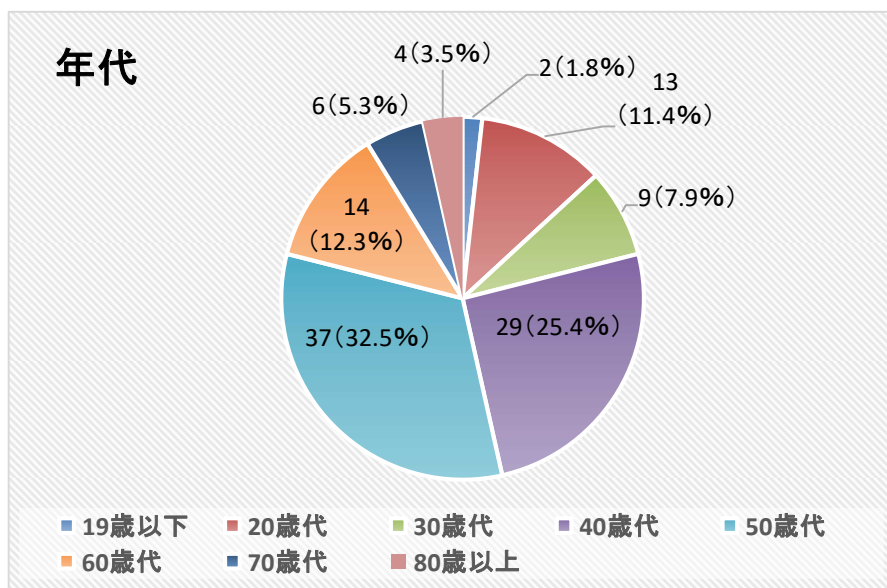
【問4】 上記の理由を教えてください。（複数回答可）

8割以上の方が「性別や立場にこだわらず様々な視点で考えることが必要」と回答、次いで「意思決定や地域活動の場に女性が参画するのが当然」「女性のことは女性にしかわからない」となりました。

【問5】 ソーレでは「女性の防災への参画」をテーマとした講演会や講座（ポリ袋調理や、簡易トイレづくりなど）を計画しています。参加したいと思いますか。

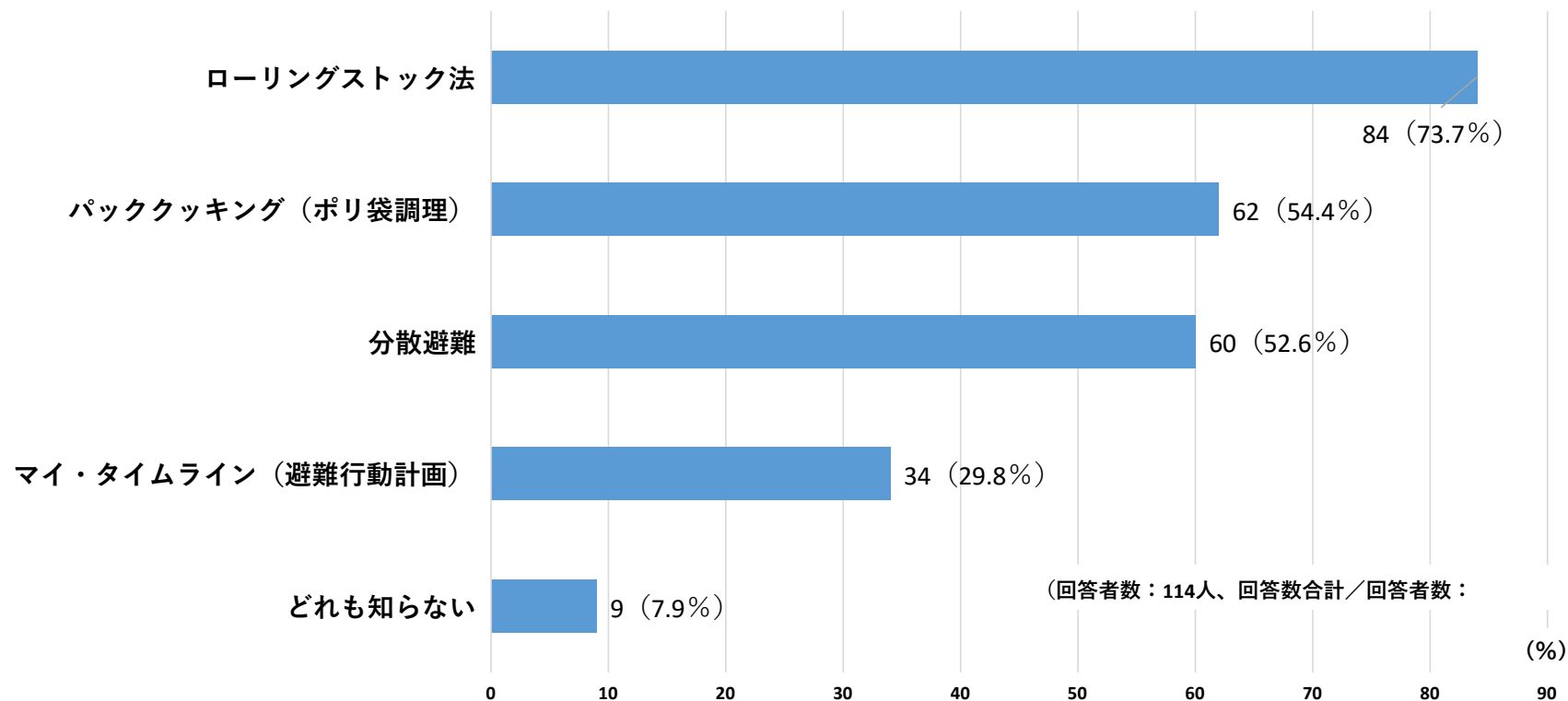
回答者の過半数となる 51.8%の方が「(参加したいと思う)」と回答しました。

【回答者について】



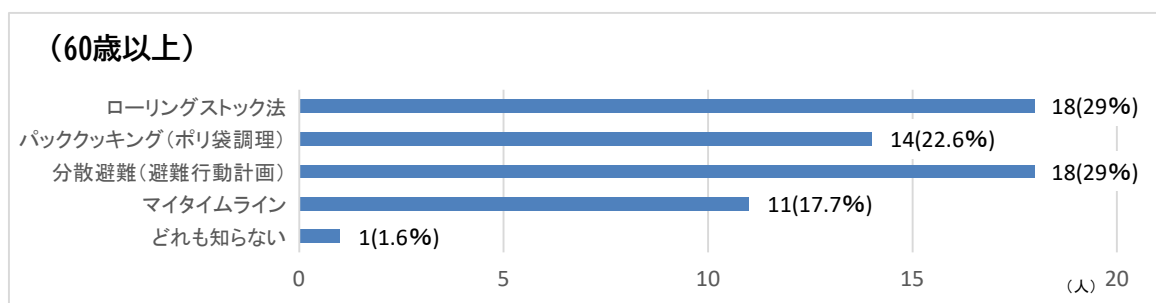
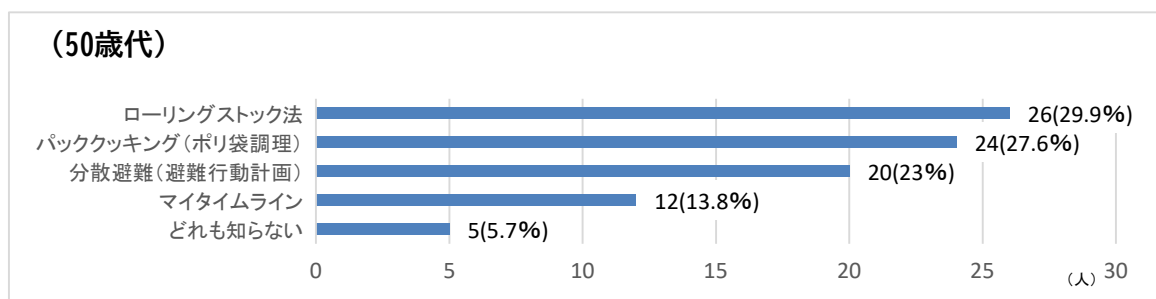
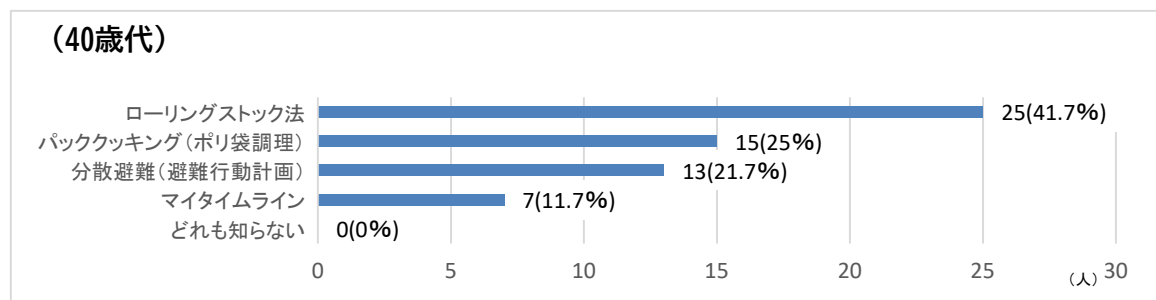
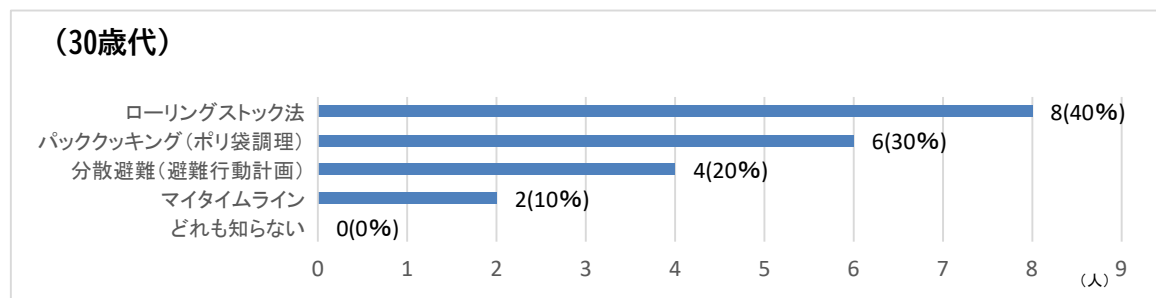
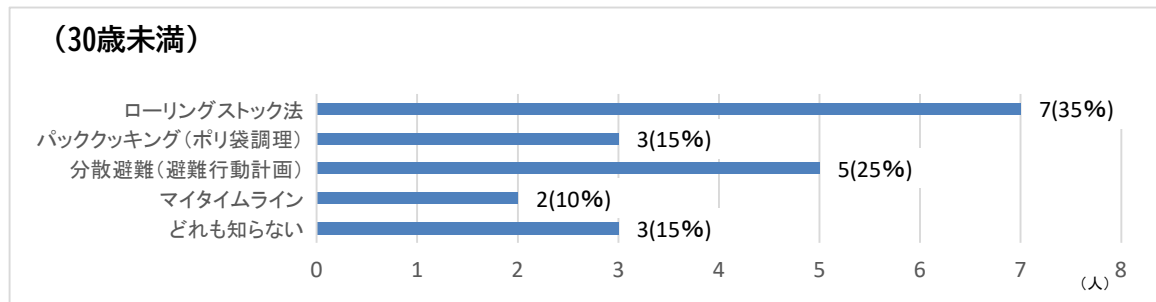
【問1】次の中で、言葉も内容も知っているものを選んでください。

(複数回答可)



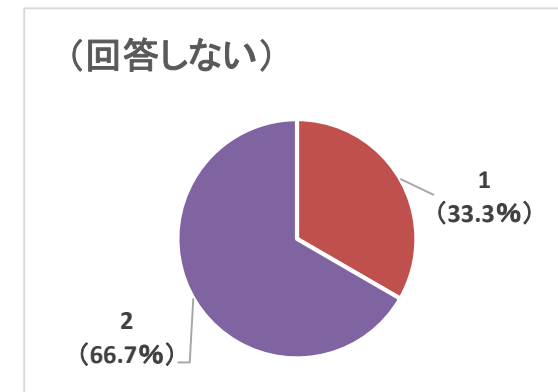
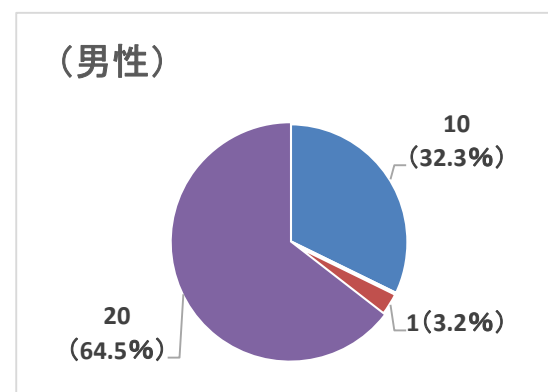
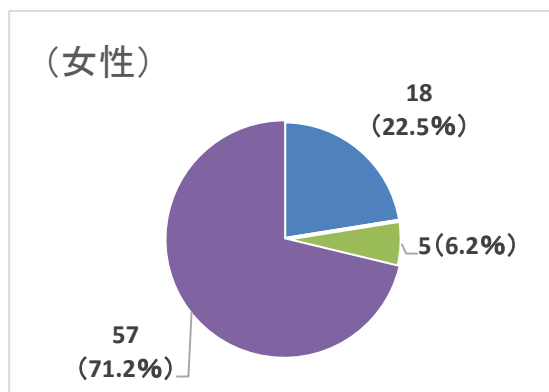
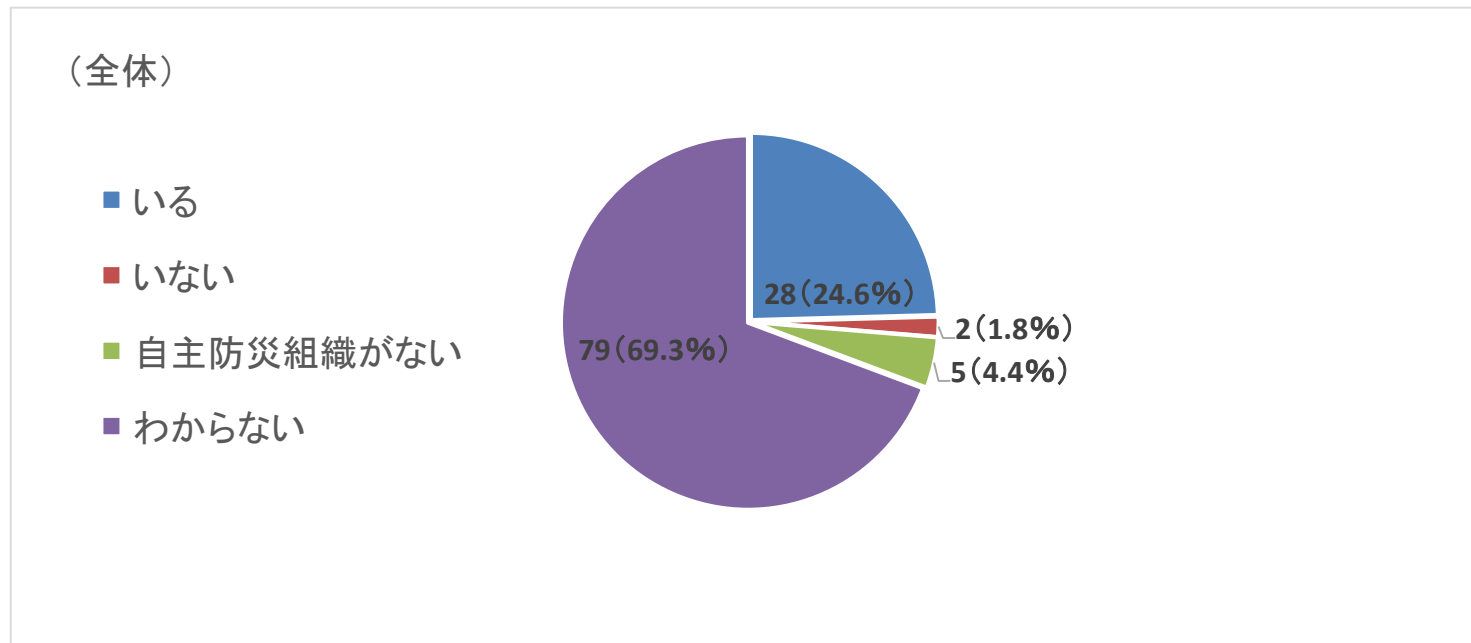
【問1】次の中で、言葉も内容も知っている物を選んでください。
(選択式・複数回答)

●年代別●



(注)割合は小数点第2位以下を四捨五入しているため、合計が100とにならない場合があります。

【問2】あなたがお住まいの地域の自主防災組織に女性メンバーは入っていますか。 ※性別・年齢別



(注) 割合は小数点第2位以下を四捨五入しているため、合計が100%とならない場合があります。

【問2】あなたがお住まいの地域の自主防災組織に女性メンバーは入っていますか。 ※性別・年齢別

女性	30歳以下	割合	30歳代	割合	ラベル表示	40歳代	割合	50歳代	割合	60歳代以上	割合	合計
いる	0	0.0%	0	0.0%	0(0%)	3	16.7%	8	44.4%	7	38.9%	18
いない	0	0.0%	0	0.0%	0(0%)	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0
自主防災組織がない	0	0.0%	0	0.0%	0(0%)	2	40.0%	3	60.0%	0	0.0%	5
わからない	12	21.1%	7	12.3%	7(12.3%)	13	22.8%	15	26.3%	10	17.5%	57
合計	12	15.0%	7	8.8%	7(8.8%)	18	22.5%	26	32.5%	17	21.3%	80

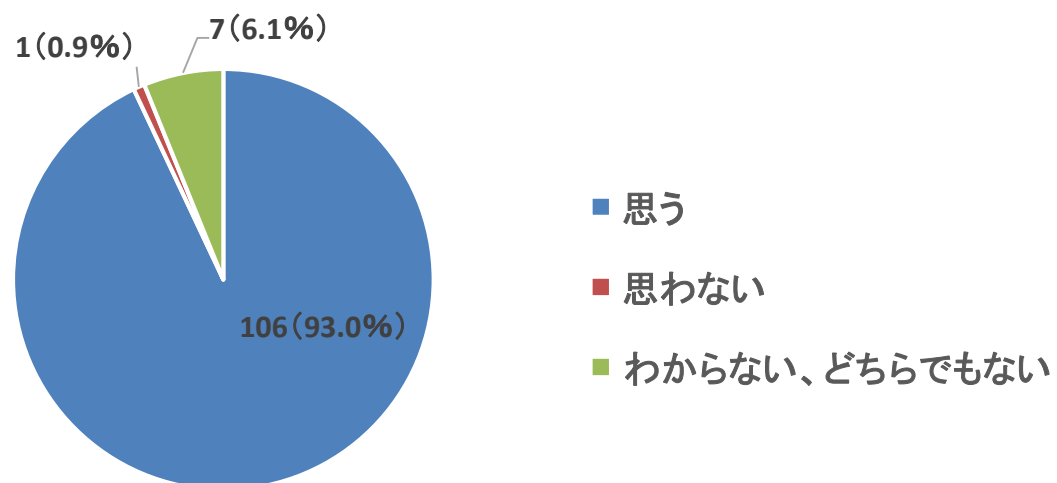
男性	30歳以下	割合	30歳代	割合	ラベル表示	40歳代	割合	50歳代	割合	60歳代以上	割合	合計
いる	0	0.0%	0	0.0%	0(0%)	2	20.0%	5	50.0%	3	30.0%	10
いない	0	0.0%	0	0.0%	0(0%)	0	0.0%	0	0.0%	1	100.0%	1
自主防災組織がない	0	0.0%	0	0.0%	0(0%)	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0
わからない	2	10.0%	2	10.0%	2(10%)	7	35.0%	6	30.0%	3	15.0%	20
合計	2	6.5%	2	6.5%	2(6.5%)	9	29.0%	11	35.5%	7	22.6%	31

回答しない	30歳以下	割合	30歳代	割合	ラベル表示	40歳代	割合	50歳代	割合	60歳代以上	割合	合計
いる	0	0.0%	0	0.0%	0(0%)	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0
いない	0	0.0%	0	0.0%	0(0%)	1	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	1
自主防災組織がない	0	0.0%	0	0.0%	0(0%)	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0
わからない	1	50.0%	0	0.0%	0(0%)	1	50.0%	0	0.0%	0	0.0%	2
合計	1	33.3%	0	0.0%	0(0%)	2	66.7%	0	0.0%	0	0.0%	3

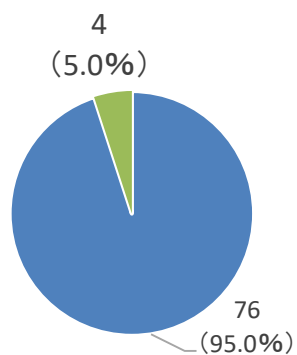
全体	30歳以下	割合	30歳代	割合	ラベル表示	40歳代	割合	50歳代	割合	60歳代以上	割合	合計
いる	0	0.0%	0	0.0%	0(0%)	5	17.9%	13	46.4%	10	35.7%	28
いない	0	0.0%	0	0.0%	0(0%)	1	50.0%	0	0.0%	1	50.0%	2
自主防災組織がない	0	0.0%	0	0.0%	0(0%)	2	40.0%	3	60.0%	0	0.0%	5
わからない	15	19.0%	9	11.4%	9(11.4%)	21	26.6%	21	26.6%	13	16.5%	79
合計	15	13.2%	9	7.9%	9(7.9%)	29	25.4%	37	32.5%	24	21.1%	114

【問3】 防災計画を策定する場や避難所の運営、避難訓練などの地域の防災活動に女性の参画がもっと必要だと思いますか。 ※性別・年齢別

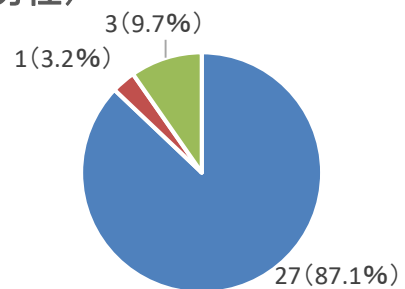
(全体)



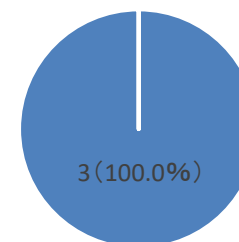
(女性)



(男性)



(回答しない)



【問3】 防災計画を策定する場や避難所の運営、避難訓練などの地域の防災活動に
女性の参画がもっと必要だと思いますか。 ※性別・年齢別

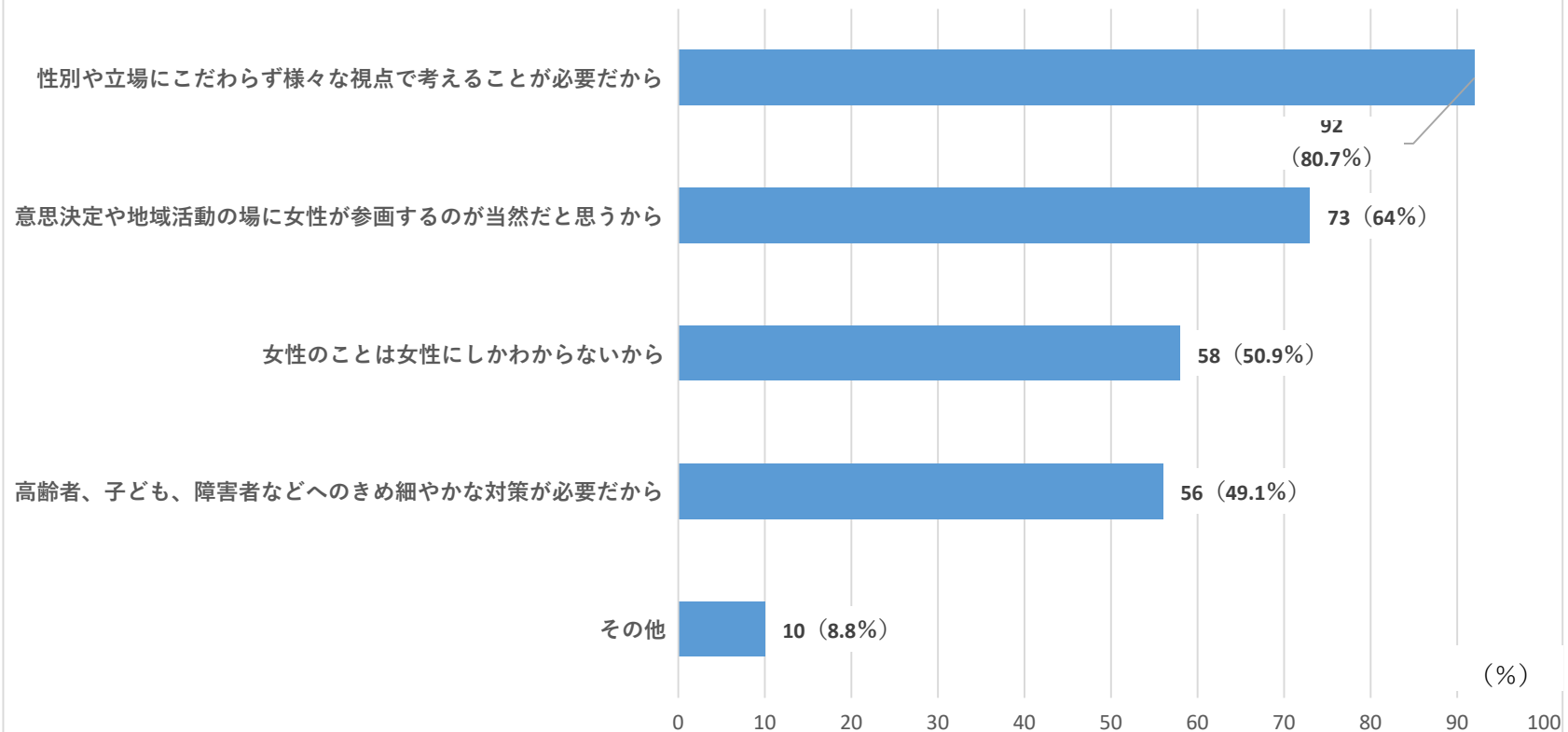
女性	30歳以下	割合	30歳代	割合	40歳代	割合	50歳代	割合	60歳代以上	割合	合計
思う	11	14.5%	7	9.2%	15	19.7%	26	34.2%	17	22.4%	76
思わない	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0
わからない、どちらでもない	1	25.0%	0	0.0%	3	75.0%	0	0.0%	0	0.0%	4
合計	12	15.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	80

男性	30歳以下	割合	30歳代	割合	40歳代	割合	50歳代	割合	60歳代以上	割合	合計
思う	1	3.7%	2	7.4%	8	29.6%	11	40.7%	5	18.5%	27
思わない	0	0.0%	0	0.0%	1	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	1
わからない、どちらでもない	1	33.3%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	66.7%	3
合計	2	6.5%	2	6.5%	9	29.0%	11	35.5%	7	22.6%	31

回答しない	30歳以下	割合	30歳代	割合	40歳代	割合	50歳代	割合	60歳代以上	割合	合計
思う	1	33.3%	0	0.0%	2	66.7%	0	0.0%	0	0.0%	3
思わない	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0
わからない、どちらでもない	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0
合計	1	33.3%	0	0.0%	2	66.7%	0	0.0%	0	0.0%	3

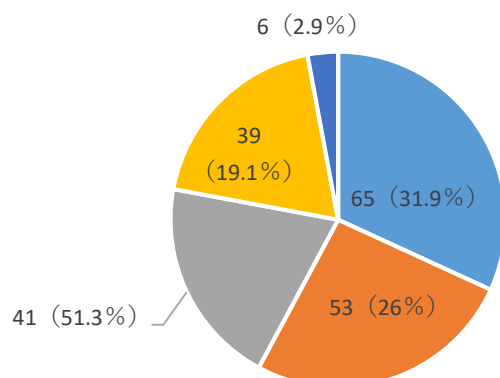
全体	30歳以下	割合	30歳代	割合	40歳代	割合	50歳代	割合	60歳代以上	割合	合計
思う	13	12.3%	9	8.5%	25	23.6%	37	34.9%	22	20.8%	106
思わない	0	0.0%	0	0.0%	1	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	1
わからない、どちらでもない	2	28.6%	0	0.0%	3	42.9%	0	0.0%	2	28.6%	7
合計	15	13.2%	9	7.9%	29	25.4%	37	32.5%	24	21.1%	114

【問4】女性の参画がもっと必要だと思う理由（複数回答）



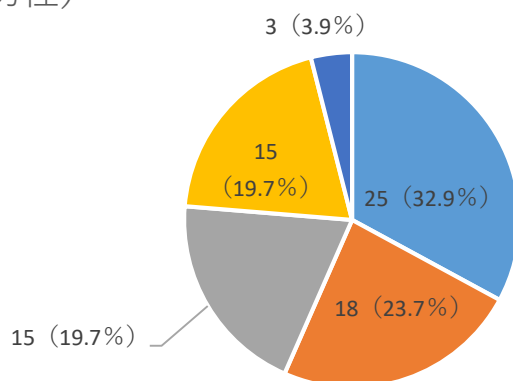
【問4】 女性の参画がもっと必要だと思う理由（複数回答） ※ 性別

（女性）

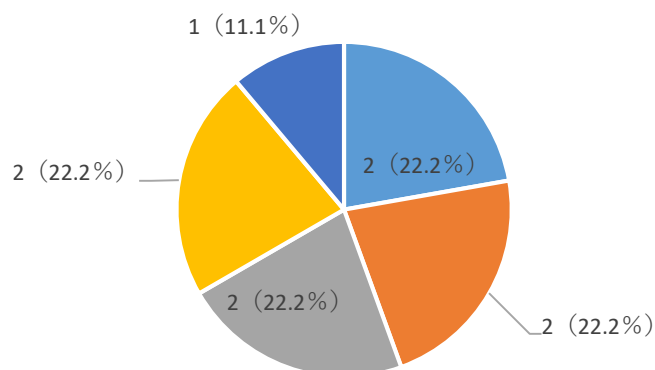


- 性別や立場にこだわらず様々な視点で考えることが必要だから
- 意思決定や地域活動の場に女性が参画するのが当然だと思うから
- 女性のことは女性にしかわからないから
- 高齢者、子ども、障害者などへのきめ細やかな対策が必要だから
- その他

（男性）



（回答しない）



（注）割合は小数点第2位以下を四捨五入しているため、合計が100とならない場合があります。

【問4】「問3」に対するその他意見

(女性の参画がもっと必要だと思う理由)

《女性》

(40 歳代)

- ・女性の少数意見であっても、受け手が真摯に受け止め、受け入れを行うことが必要だと思う。女性の問題に限らず、少数派の意見を運営に取り入れていく姿勢を皆が持つべきである。
- ・参加したくても参加出来ない状況もあるのではと思う。
- ・性別や立場などさまざまであるので、そのさまざまな視点を持つ人が参画することが必要だと思うから（選択肢 2 と似ている部分がありますが、性別や立場に「こだわらず」というよりむしろ「それぞれ立場が異なる」ために多様な人が参画することが必要だと思っています）。

(60 歳代)

- ・性別もそうですが、高齢の役員が多くて意見が通らないし聞いてくれない状況です。
- ・実際の訓練や運営に参加し体験を積み重ねることが災害時に役立つかも知れない。

(70 歳代)

- ・わからない。

《男性》

(40 歳代)

- ・プライバシーや身体の事情からも避難場所の環境などについて、女性目線で考える必要があるため。

《回答しない》

(20 歳代)

- ・意思決定や地域活動の場に多様な人が参画するのが当然であり、よって女性が参画するのも当然だから（と書くと、「女性」という「属性」とその他の「属性」がはっきり境界のあるものであるというように思われるかもしれませんが、「属性」は絡み合い、混ざり合い、相互作用しあっており、不可分なものと考えます。つまり、障害や病気を経験している、クィア、人種や民族マイノリティなど、多種多様な女性がいて、また参画するのが当然だと思います）。

(女性の参画が必要だと思わない理由)

《男性》

(40 歳代)

- ・自主防災組織にはもう十分入っているから（メンバーの約半数）。

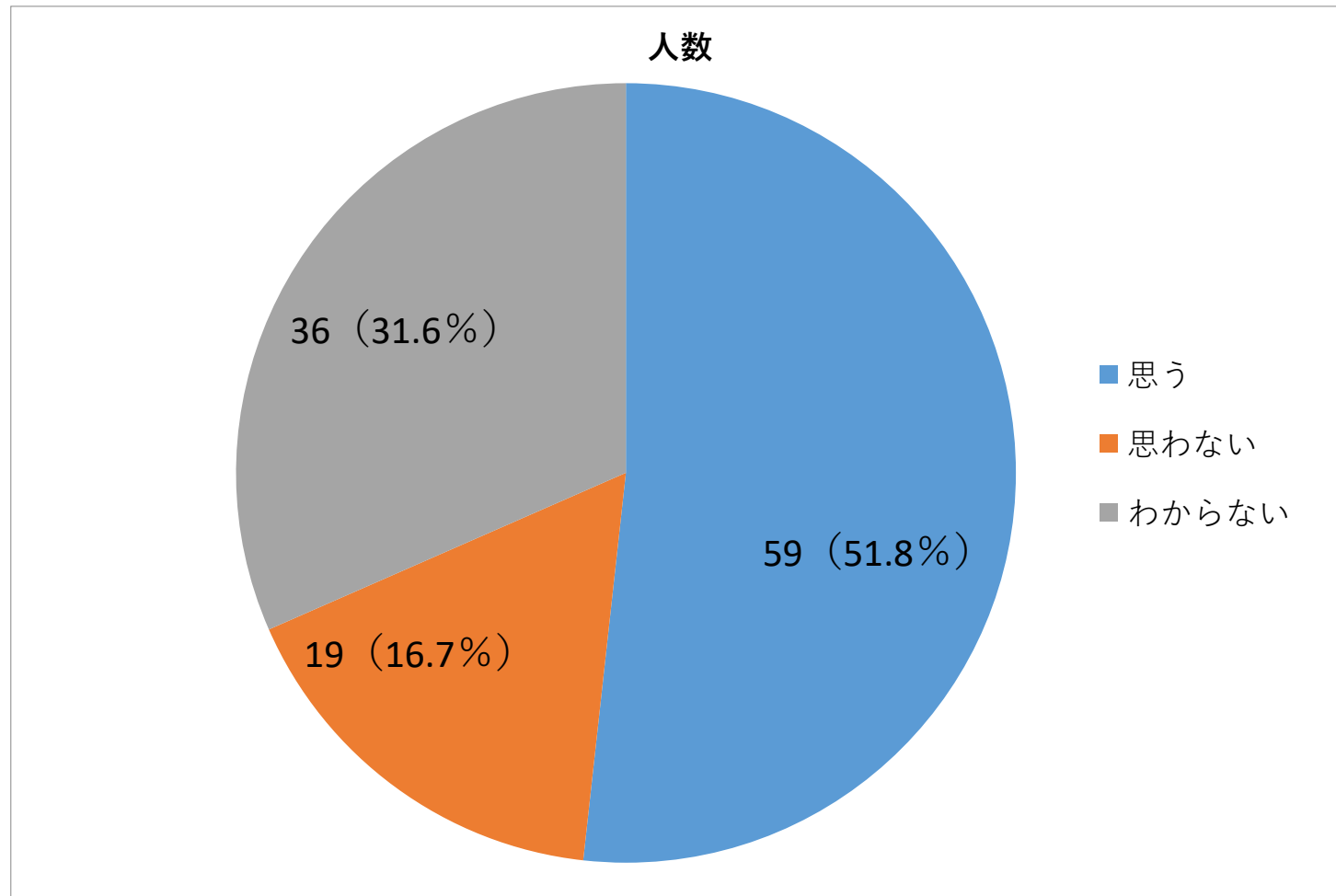
(女性の参画が必要かどうかわからない、どちらでもない理由)

《男性》

(80 歳代)

- ・必要だと思えない。

【問5】 ソーレでは「女性の防災への参画」をテーマとした講演会や講座（ポリ袋調理や、簡易トイレづくりなど）を計画しています。参加したいと思いますか。



【問6】このテーマについてのご意見を自由にお書きください。（自由意見）

《女性》

（20 歳代）

- ・ 実際起こらないと考えにくいことなので、東日本大震災の時のこともふまえ、女性視点で安全に逃げられるように考えることは大切だと思う。世の中いいい人ばかりではないですからね。
- ・ どうしても大規模な防災に関する話だと男性の活躍する場面が大きいように感じる。ただ、避難所でのからしには男性だけではなく女性も当然存在し、女性の抱える悩み（月経や授乳など）に寄り添った計画を立てることが求められると考える。そのため、今回のようなテーマは非常に興味深かった。

（30 歳代）

- ・ 現状、男性が主体となっているイメージですが、男女関わらず参加できる環境が必要ではないかと思っています。そのためには、まず意識改革となるような講習などがあれば嬉しいです。
- ・ 防災の学習会に参加して、自身が住む自治体では避難所に生理用品のストックがないと知りました。意思決定の場に女性がいれば必ず入るものだろうに入っていないことに驚きました。
- ・ 南海トラフが想定され、都会より高齢化が進んでいる高知県こそ、より大事になるテーマだと思います。
- ・ 計画をよろしくお願い致します。リモート参加もできるといいです。

（40 歳代）

- ・ 防災素人さんが作ったアンケートですね。もっとお勉強してください。
- ・ 性別に限らず、若い世代の人が防災に参加しやすいように、教育で災害時を想定した学習機会を設けて男女がリーダー役を務めてワークを繰り返してやるなどが必要ではないでしょうか。
- ・ まずは個人一人ひとりが災害が起こったときの備えについて考えを深めていくことが大切だと思う。なので、いろんなところで防災のことを考えられるのはよいと思う。また女性の参画だけでなく、子どもも高齢者も障がい者もいろんなアプローチで考えられる場があればよいと思う。
- ・ 女性の地位向上や、意見反映のために活動いただいていることに感謝申し上げます。女性が防災へ参画し、出た意見を全体で共有することで、相互理解が深まり、よりよい避難所運営等につながると思います。
- ・ 女性の参画は重要だと考えますが、日時を指定していざ参加となると家族や家事、仕事の都合などのハードルも高いので、SNS を利用して一定の期間内に意見などを送ったり回答できる仕組みがあれば、都合のつくタイミングでメッセージを送ることができ、参加のハードルが下がり助かります。

（50 歳代）

- ・ 地域で年配男性が幅を聞かせており、女性をはじめ若い世代、外国人など多様な人達が活動しにくい現状があると思います。
- ・ まだまだ女性が意思決定の場に入れない現実です。活動の場が広がるといいですね。
- ・ 防災に関心はあるけれど、じゃあどうしたらいいのかわからない。地元公民館に講師が来て話をし

てくれるなど、気負わずに学べる場があればいいのにと思います。

- ・防災に女性の視点は、今から 20 年ほど前はほぼ入っていませんでしたが、今は随分入ってきましたね。それでも十分ではないと思いますので、多くの女性の参加と協力が必要と感じます。
- ・地域の防災組織については、女性が中心となっているところが多いように感じます。
- ・このような内容は常に発信してほしい。
- ・このような講演会が開かれていることについて、積極的に関わっていきたいと感じた。地域の繋がりが大切。
- ・全く聞いたことのない、防災意識が無いのを思い知りました。
- ・必ずしも女性を増やさないとはいえないわけではなく、その人の資質だと思います。いろいろな人が参加して意見ができればいいと思います。
- ・私はこれまでの経験で結構詳しく知っていること、内容なのであえて今更また参加しようとは思わないのですが、まだまだ広報周知の必要があると思いますので講演会や講座の開催はとてもよいと思います。
- ・大変重要なテーマであると思います。
- ・いつかはくる地震について考えていかないとはいえないと思いつつも、日々の忙しさに追われ後回しになっています。きちんと考え準備できる機会があればいいです。

(60 歳代)

- ・男女、年齢問わず、また人間だけではなく、広い目で見えた防災活動が重要。偏った意見だと、その人たちだけの価値観に左右されそうでおそろしい。
- ・女性抜きで防災はできないです。南海トラフ大地震が起こった時のことを考えると今のままでは心配です。
- ・個人でもパッククッキングの輪を広げています。レパートリーが増えたら良いと思っています。
- ・このアンケートにあらゆる世代の多様な方々に参加してもらえたらいいですね。
- ・パッククッキング、ポリ袋調理いずれの言葉を使うのか決めた方がいいかと思います。パッククッキングは分かりにくい。
- ・男女、総合力が、ないと、より良い、生活条件は、作れないと思います。
- ・南海トラフ地震等を考えると緊迫感を伴った身近な問題として考えます。高齢にはなってきましたが、普段から出来ること、直面した時にしなければならないこと、様々な情報を得ていきたいと思っています。
- ・防災への女性の参画は必須と考えております。ただし、必要性は十分理解しているつもりなのですが防災の勉強には腰が重くなりがちです。遊びとセットで真面目に語り合う「ソロキャンプを楽しみながら防災を考える女子会」などを屋外で実施する企画だと一石二鳥で魅力的と思います。
- ・今年度の女性防災講座に参加させていただいてから、既存の防災知識がいかに狭いものだったかを思い知らされました。また、オーストラリア人の同僚(男性)に「どうして女性リーダーの目標が 30%？なぜ 50%じゃないの？」と素直に質問された時も「そうだね」と目から鱗でした。私も無意識に女性を低く見ていたのだ！と。防災リーダーは、女性も男性もそれぞれの目線で考えられるように 50%：50%を目標に、また、様々な立場の方々も同様に参画していくことの必要性を感じています。

(70 歳代)

- ・出来るだけ参加したいと思います。
- ・当地区でも、コロナで中止となっていた「避難所運営マニュアルに基づく訓練」が初めて参加者限定ながらも実施されます。残念ながら夫に依頼がありました。
- ・地域住民間の交流を図り顔馴染みになって絆を深めたい。

(80 歳代)

- ・とても大事なことですけれど、考えておかなければいけないことなんですけれど、私は思いつかなかったし、考えてもみなかった、ほんとにこれは大事なことだと思います。

《男性》

(20 歳代)

- ・学生時代に震災後支援について学んだ際に、避難所にて最低限のプライバシーが確保されていないことが原因で、避難所でのセクシャルハラスメントやレイプなどの被害があることを知りました。防災計画、避難施設、衛生などについて女性からの意見を取り入れることは地域社会において重要だと考えます。

(40 歳代)

- ・関心のない人に対する意識づけとしてアンケート等を利用した周知は大切だと思う。ただ、もっと重要なのはより多くの人が実際に参加する一人一人の行動だと思う。

(50 歳代)

- ・起こりうる南海地震の避難所で、弱者への犯罪等の対策を考えておく事も大事であるので、日頃から女性の意見を聞き取る必要があると思います。
- ・まだまだ活動等が浸透してないので、PR の仕方を考えるなり、繰り返し宣伝し防災への意識を浸透させたら良いと考えます。

(60 歳代)

- ・もっと女性に参加してもらいたい。
- ・避難所の運営など、女性がいなければ成り立たない。計画の段階から参加し、実行可能な訓練を進め、参加人員が増えていき、全てのジェンダーが安全により快適に避難出来る方策の策定が必要だと思います。
- ・頑張ってください。

(70 歳代)

- ・日頃から、津波浸水想定区域内の学校区でも、体育館への避難の訓練をしている事を、不思議に思っています。高台の地域と同じメニューではなく、高台避難の訓練をすべきだと思います。

(80 歳以上)

- ・少しピーアールが足りないと思います。

《その他》

(20 歳代)

- ・問 4 の設問について、偏見が混ざった「よくある意見」が選択肢として並べているようですが、自分以外にもそう思う人が多いから選択肢になっているに違いない、選択肢になるほど「妥当」な意見であるに違いない、と考える人は少なからずいるのではないのでしょうか。偏見を強化するきっかけにもなりうるので、設問の選択肢を作る際は慎重になっていただきたいと思いました。最終的に出される意見は同じだったとしても、「女性のことは女性にしかわからないから」「高齢者、子ども、障害者などへのきめ細やかな対策が必要だから(女性はきめ細やか、ケア労働が得意分野だという決め付けを含む)」「女性には向いていないから」といった選択肢を選ぶことで、偏見の強化につながるより、記述式でそういった意見が出される方がまだマシなのではと思いました。問 5 では、ソーレが計画中の「女性の防災への参画」をテーマとした講演会や講座(ポリ袋調理や、簡易トイレづくりなど)に参加したかとありますが、「女性」対象でなければ、おそらく料理やケアに関するテーマがここまで全面に打ち出されることはないだろうと感じました。「女性だから」これらが得意とは限りません。「女性」でなくても、得意な人はいます。どうか、「属性」ばかりを見ず、「個人」を見てほしいです。もちろん、「女性」が家事や育児、介護、ケア労働を担うことが多い社会では、これらが得意な人が多くなりがちなのはわかりますし、得意なことで防災に関われることは良いことだと思いますが、「女性の防災＝炊き出しやケア労働」のイメージを打ち出してしまっているのでしょうか。「女性というものはこうだ」というステレオタイプを再生産し、型にはめ、息苦しくしていないですか。「女性」が防災に関わる糸口として、このようなアプローチを取っているのかもしれませんが、ソーレには、こういった現状を変えていってほしいと願っています。「防災への女性参画」というテーマの講演は最近増えてきており、自分も何度か受講したことがあるのですが、その一つでは、子どもや高齢者、病気や障害を経験している人、外国人、その他配慮が必要とされる人等は、ケア労働が得意な女性にケアされる対象として紹介されていたように思います。つまり、「防災への女性参画」において、必要とされている「女性像」は、ケアが必要なほど高齢ではない大人で、(おそらくシスヘテロ Allo セクシャルで)子育てを経験していて、病気や障害を経験していない、日本語や日本文化に慣れ親しんでいるような女性なのだと、排他的だと感じたことがあります。「防災への女性参画」なら、どんな女性でも参画できるべきです。クィアとして感じることでいえば、「男女共同参画と防災」の話は、非常に性別二元論的だったり、クィアが存在がなかったことにされることが多々あります。例えば、生理や出産を経験している/経験したノンバイナリーやトランス男性もいるのに、避難生活での生理や乳児のケアなどの話では全く想定されていないですし、避難所での性暴力の話はシス女性のことしか念頭にないように感じます。クィアカップルの避難生活などについて考えたことはあるのだろうか、とも思います。

(40 歳代)

- ・問 1 に関しては補足説明ですか？全体的におかしな文面ですね笑笑

ソーレWEBアンケート テーマ「防災への女性参画」

〈質問事項〉

— 基本事項 —

- ・ あなたの性別
(女・男・その他・回答しない)
- ・ あなたの住所
(高知県内・高知県外)
- ・ あなたの年齢
(19歳以下・20歳代・30歳代・40歳代・50歳代・60歳代・70歳代・80歳以上)

【問1】

次の中で、言葉も内容も知っているものを選んでください。(複数回答可)

〔選択肢〕

- ・ ローリングストック法
※普段から必要量の備蓄を用意し、定期的に消費しながら買い足して管理する方法
- ・ パッククッキング(ポリ袋調理)
※食品を混ぜる、加熱する等をすべて袋の中で行う調理方法
- ・ マイ・タイムライン(避難行動計画)
※自分自身がとる防災行動を時系列で整理し、自ら考え命を守る避難行動計画
- ・ 分散避難
※避難所だけでなく、自宅や車の中、知人宅やホテルなど、場所を分散して避難すること

【問2】

あなたがお住まいの地域の自主防災組織に女性メンバーは入っていますか。

〔選択肢〕

- ・ いる
- ・ いない
- ・ 自主防災組織がない
- ・ わからない

【問3】

防災計画を策定する場や避難所の運営、避難訓練などの地域の防災活動に女性の参画がもっと必要だと思いますか。

〔選択肢〕

- ・ 思う
- ・ 思わない
- ・ わからない、どちらでもない

【問4】

上記の理由を教えてください(複数回答可)。

- ・ 意思決定や地域活動の場に女性が参画するのが当然だと思うから
- ・ 性別や立場にこだわらず様々な視点で考えることが必要
- ・ 女性のことは女性にしかわからないから
- ・ 高齢者、子ども、障害者などへのきめ細やかな対策が必要だから
- ・ 女性には向いていないから
- ・ その他

【問5】

ソーレでは「女性の防災への参画」をテーマとした講演会や講座（ポリ袋調理や、簡易トイレづくりなど）を計画しています。参加したいと思いますか。

〔選択肢〕

- ・ 思う
- ・ 思わない
- ・ わからない

【問6】

このテーマについてのご意見を自由にお書きください。(自由記述)